

第Ⅱ部 資料

◇調査票

◇付属統計表

- ・事業所調査基礎項目集計
- ・事業所調査産業別集計
- ・従業員調査基礎項目集計

「多様な就業形態と人材ポートフォリオに関する実態調査」

～ 調査へのご協力のお願い ～

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

このアンケート調査は、職場での人材の活用実態を把握するため、労働政策研究・研修機構（※）が、厚生労働省の要請を受けて行っております。さまざまな就業形態で働いておられる労働者の的確な活用と、就業環境の整備に向けた労働政策の検討のための基礎資料の作成及び、学術研究を目的に実施するものです。

本調査は、当機構が、株式会社日本統計センターに委託して行い、全国の従業員数30人以上の8,000事業所にご協力をお願いしております。

つきましては、ご多用中誠に恐縮に存じますが、**裏面の「調査の実施方法」をご覧の上、事業所調査票につきましては、貴事業所で人事・総務を担当されている方にご回答いただき、従業員調査票につきましては、貴社の正社員と非正規従業員（「パート・アルバイト」、「契約社員」、「派遣社員」）合計10名の方に配布していただきたく、お願い申し上げます。**

なお、ご回答頂きました内容は、すべて統計的に処理し、貴社名やご回答内容等が他に漏れることは一切ございません。

本調査の趣旨や手順をご理解の上、何とぞご協力くださいますようお願い申し上げます。

敬具

2014年 1月 吉日

労働政策研究・研修機構
理事長 菅野和夫

【調査票の発送・実査内容・回収についての問い合わせ】

株式会社日本統計センター 担当：門川（カドガワ）・渡邊
〒101-0031 東京都千代田区東神田 2-9-14 NTCビル
TEL：03-3861-**** E-mail：***@ntc-ltd.com
受付時間：9：00～12：00、13：00～18：00（土日祝日を除く）



株式会社日本統計センターは、労働政策研究・研修機構より当調査の実査・集計業務を委託されています。一般財団法人日本情報経済社会推進協会より個人情報の適切な取り扱いを行う事業者として、プライバシーマークの付与認定を受けています。

【調査票の趣旨・目的についての問い合わせ】

独立行政法人 労働政策研究・研修機構 担当：小野、奥田、前浦
TEL：03-5991-5147
受付時間：10:00～12：00、13：00～17：00（土日、祝日を除く）

（※）労働政策研究・研修機構は、厚生労働省所管の独立行政法人で、国内外の労働事情や労働政策について総合的な調査研究等を行うことにより、労働政策の立案や労働政策の効果的で効率的な推進に寄与することを目的として設置された組織です。（詳細については当機構のホームページ（<http://www.jil.go.jp/>）をご覧ください。）

「調査の実施方法について」裏面をご覧ください

調査の実施方法

- ◆調査票は2種類です。「事業所調査票（1部）」（薄緑色）と「従業員調査票（10部）」（薄黄色）及び返信用封筒（事業所調査票用1部・従業員調査票用10部）が同封されています。

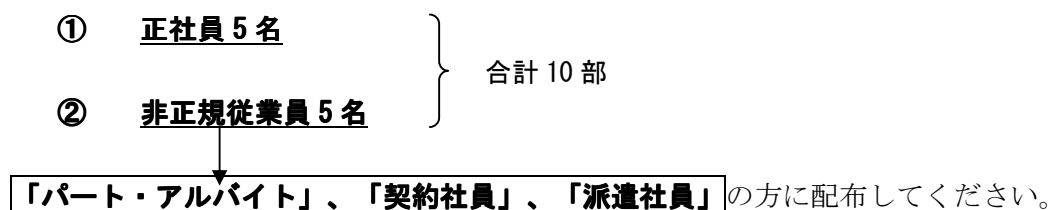
◆事業所調査票（薄緑色）

- ・ 貴事業所の人材活用、雇用管理制度等についての質問です。ご回答は、**人事・総務を担当されている方**にお願いいたします。人事・総務のご担当者がいらっしゃらない場合には、貴事業所で従業員の労務管理を行っている方がご回答ください。
- ・ ご記入が終わりましたら、同封の緑色の返信用封筒（切手不要）にて **2014年2月3日（月）**までにご投函ください。

◆従業員調査票（薄黄色）

- ・ **従業員調査票は10部同封されています。配布の方法は下記に従ってください。**

現在の**年齢が40歳未満**の方のうち、



- ・ 正社員が5名未満の場合は、余った従業員票を、非正規従業員に配布してください。
- ・ 非正規従業員が5名未満の場合は、余った従業員票を、正社員に配布してください。
- ・ もし、可能であれば貴事業所の中で中心的事業を担っている部門で働く方に配布していただくと幸いです。（例：工場の場合→製造ラインの従業員、営業所の場合→営業職員、営業事務職員）
- ・ 従業員調査票は、回答者ご本人様から直接、株式会社日本統計センター宛てに返信していただくことになっております。従業員の方には、同封の薄黄色の返信用封筒（切手不要）をお渡しいただき、その旨をお伝えください。

以上

多様な就業形態と人材ポートフォリオに関する実態調査（事業所調査票）

厚生労働省要請調査

【調査の趣旨】

このアンケート調査は、さまざまな就業形態で働いておられる労働者の的確な活用と、就業環境の整備に向け、労働政策の検討のための基礎資料とすることを目的に実施するものです。労働政策研究・研修機構(※)が、厚生労働省の要請を受けて行っております。貴事業所での状況を是非ご教示くださいますよう、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

【記入にあたってのお願い】

1. 貴事業所において人事・労務を担当されている方に、ご記入をお願いいたします。
2. 特にことわりのない場合、2014年1月1日現在でお答えください。
3. 特にことわりのない場合、貴社全体ではなく、貴事業所の状況についてお答えください。
4. ご記入内容は、すべて統計的に処理され、研究目的にのみ利用されますので、ありのままをご記入ください。
5. ご記入が終わりましたら、同封の緑色の返信用封筒に入れて、2月3日（月）までにご投函ください。

【調査票の記入方法・実査内容・回収についての問い合わせ】

株式会社日本統計センター 担当：門川（カドガワ）、渡邊

電話：03-3861 **** E-mail：***@ntc-ltd.com

受付時間：9：00～12：00、13：00～18：00（土日祝日を除く） 10820548(05)

株式会社日本統計センターは、労働政策研究・研修機構より当調査の実査・集計業務を委託されています。



【調査の趣旨・目的についての問い合わせ】

独立行政法人 労働政策研究・研修機構 担当：小野、奥田、前浦

電話：03-5991-5147

受付時間：10：00～12：00、13：00～17：00（土日祝日を除く）

(※)労働政策研究・研修機構は、厚生労働省所管の独立行政法人で、労働政策に資する調査研究活動を行っております。

I 最初に、貴事業所の従業員数についておうかがいします

問1. 2014年1月1日時点の貴事業所の従業員（派遣社員も含む）の人数をお答えください。（該当する方がいない場合は「0」を記入してください。）

この調査で 用いる用語	人数（人）		3年前との比較			
	男女計	うち男性	増えた	変わらない	減った	3年前も 現在も当 該従業員 はいない
正社員	()人	()人	1	2	3	4
限定正社員 *勤務地、労働時間、職種などが、 貴社の一般的な正社員に比べて限定 されている正社員	()人	()人	1	2	3	4
非正規従業員 契約社員 *フルタイムで期間を定めて雇用す る者。定年退職の再雇用者は除く	()人	()人	1	2	3	4
パート・アルバイト	()人	()人	1	2	3	4
派遣社員 *労働者派遣事業者から派遣されて いる労働者	()人	()人	1	2	3	4
その他（上記以外の従業員）	()人					

問12. 貴事業所の契約社員、パート・アルバイト、派遣社員の処遇や職種についてお伺いします。(該当する従業員がいない場合には、なにも記入しなくて結構です。)

		記入例	契約社員	パート・ アルバイト	派遣社員
		↓ ↓ ↓ ↓ ↓			
1.	1年を超えて勤続している人の人数	10人	人	人	人
2.	もっとも長く勤めている人の勤続年数	13年	年	年	年
3.	一般的な所定労働時間(1週あたり)	27時間	時間	時間	時間
4.	時給 平均額	*月給、日給の場合1時間あたりに換算 してください。派遣社員は派遣料金でご 記入ください。	900円	円	円
5.	時給 最高額		1200円	円	円
6.	時給 最低額		800円	円	円
7.	昇進・昇格制度がありますか。(○は1つ)	1. ある 2. ない	1 2	1 2	1 2
8.	賃金はどのような時に上昇しますか。(○はいくつでも)	1. 仕事内容が高度になる 2. 勤続年数が長くなる 3. 会社の業績が上向く 4. 賃金の地域相場が上がる 5. 仕事に係わる資格や免許を取得する 6. 業績・成果が上がる 7. 本人からの申し出がある 8. 賃金は上がらない	1 2 3 4 5 6 7 8	1 2 3 4 5 6 7 8	1 2 3 4 5 6 7 8
9.	賃金の上昇を実質的に決めるのは誰ですか。(○は1つ)	1. 本社の人事担当 2. 貴事業所の人事担当 3. 配属部門の責任者 4. 賃金は上がらない	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4
10.	当該従業員の職種にはどのようなものがありますか。(○はいくつでも)	1. 管理職(リーダー職含む) 2. 事務職(一般事務等) 3. 事務系の専門職(財務、翻訳、秘書等) 4. 技術系の専門職(設計、SE等) 5. 医療・福祉・教育関係の専門職 6. 営業職 7. 販売職 8. 生産・技能職 9. 接客・サービス職 10. 運輸・通信職 11. その他	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11
11.	当該従業員のうち、正社員と同じ仕事をしている人はどのくらいいますか。(○は1つ)	1. ほとんどの人が同じ仕事をしている 2. 同じ仕事をしている人は半分くらい 3. 同じ仕事をしている人は少数 4. 同じ仕事をしている人はいない	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4

問18. 過去 3 年間に貴事業所に入職した中途採用の正社員のうち、それまでのキャリアで正社員の経験がなかった方はいいますか。いる場合、人数をお答えください。(会社内からの登用は除きます) (○は1つ)

1. いる () 人 2. いない → 問19へ 3. わからない → 問19へ

↓
 「1. いる」を選択した事業所にうかがいます。

付問 1. 採用時の年齢はいくつでしたか。(○はいくつでも)

1. 20歳未満 3. 25～29歳 5. 35～39歳 7. 50歳代
 2. 20～24歳 4. 30～34歳 6. 40歳代 8. 60歳以上

付問 2. 採用につながった募集方法はどれですか。あてはまるものをお選びください。(○はいくつでも)

1. ハローワーク 5. 縁故
 2. 民間の人材紹介や派遣会社 6. 求人広告
 3. 学校からの紹介 7. 自社の採用 WEB ページ
 4. 業界関係者からの紹介 8. その他 ()

付問 3. 下記の中で採用につながった事柄をお選びください。(○はいくつでも)

1. 募集している業務と関連のある非正規従業員の経験
 2. 募集している業務と関連のある資格・免許 → 付問 3-1 へ
 3. 募集している業務と関連のある職業訓練の受講 → 付問 3-2 へ
 4. なぜ正社員経験がないのかについて筋の通った説明
 5. その他 ()

付問 3-1. 「2」を選択された事業所にうかがいます。どのような資格・免許でしたか。複数ある場合には、重視した資格・免許を2つまでご記入ください。

(例) 薬剤師、簿記2級など

付問 3-2. 「3」を選択された事業所にうかがいます。どのような職業訓練でしたか。複数ある場合には、重視した職業訓練を2つまでご記入ください。

(例) 三次元 CAD、OA システム開発など

問19. 貴事業所では正社員を主戦力に育てるまで、入社からおよそ何年くらいをめやすにしていますか。(○は1つ)

1. 1年くらい 4. 6～9年くらい
 2. 2～3年くらい 5. 10年以上
 3. 4～5年くらい

問20. 貴事業所で過去3年間に、入社3年以内の正社員を管理監督者(課長、店長、プロジェクト・マネジャーなどの管理職)に抜擢したことがありますか。新卒者と中途採用者にわけてお答えください。(各項目に○は1つ)

	抜擢したことがある	ない
新卒者	1	2
中途採用者	1	2

問21. 貴社全体の正社員の採用・育成についておうかがいします。以下のそれぞれのA、Bについて、貴社の状況に近いものをお選びください。(各項目に○は1つ)

方針 A	Aに近い	ややAに近い	ややBに近い	Bに近い	方針 B
新卒採用に注力している	1	2	3	4	中途採用に注力している
募集すれば必要人員は集まる	1	2	3	4	募集しても必要人員が集まり難い
長期の育成を重視する	1	2	3	4	即戦力の人材を重視する
正社員全員の長期雇用に努める	1	2	3	4	正社員の一部を精鋭として残す
採用コスト・教育投資の回収には3年以上かかる	1	2	3	4	採用コスト・教育投資の回収は3年以内に完了する
勤続年数などの序列を重んじて昇進させる	1	2	3	4	勤続年数に関係なく抜擢する
大卒以上の学歴を重視する	1	2	3	4	学歴にはこだわらない

問22. 貴事業所の正社員（管理職以外）は、どのような目標管理がなされていますか。(○はいくつでも)

1. 利益目標が設定されている
2. 売上目標が設定されている
3. 成果物等の数の目標が設定されている
4. チャレンジングな行動目標が設定されている
5. プロセスに関する目標が設定されている
6. その他 ()
7. 特に目標管理はしていない

問23. 貴事業所の正社員の目標達成に向けた指導・管理の頻度はどの程度ですか。(○は1つ)

1. 毎日
2. 週に1度
3. 月に1度
4. 四半期に1度
5. 半年に1度
6. 年に1度
7. その他 ()
8. 行っていない

問24. 人事考課において3年連続で最低評価とされた正社員がいた場合、どのような措置を講じますか。(○はいくつでも)

1. 是正機会を与える
2. 指導・警告を行う
3. 他の部署への配転を打診する
4. 退職勧奨する
5. 解雇する
6. その他 ()
7. 以上のいずれの措置も講じない

問25. 貴事業所では、今後3年間で正社員が何人くらい増える、あるいは減ると思いますか。(○は1つ)

1. 増えると思う → ()人くらい
2. 減ると思う → ()人くらい
3. 現状維持
4. わからない

正社員の働き方について

問26. 貴事業所の正社員の週所定労働時間と先月1か月の平均的な残業時間をお答えください。

1週あたりの所定労働時間	()時間
先月1か月の1人あたり平均残業時間	()時間

問27. 正社員の中で、残業時間が1か月平均で60時間を超える人の割合はおよそどのくらいですか。(○は1つ)

1. ほとんどいない
2. 1割～2割程度
3. 3～4割程度
4. 5割以上
5. わからない



付問 2、3、4を選択された事業所にうかがいます。 その中に残業時間が100時間を超える方はいらっしゃいますか。(○は1つ)

1. いる
2. いない
3. わからない

問28. 3年前と比べて、残業時間が1か月平均で60時間を超える正社員の割合はどう変化しましたか。(○は1つ)

1. 増えた
2. やや増えた
3. あまり変わらない
4. やや減った
5. 減った

問29. 残業が多い理由は何ですか。(○はいくつでも)

- | | | |
|---------------|-----------------|-----------------|
| 1. 業務量が多い | 5. 人員不足 | 9. 収入の補填 |
| 2. 納期にゆとりがない | 6. 職場のムード | 10. 突発的に仕事が発生する |
| 3. 目標値・ノルマが高い | 7. 仕事への責任感が強い | 11. その他 () |
| 4. 無駄な業務が多い | 8. 社員が自主的に行っている | 12. 残業は多くない |

問30. 長時間残業への対策について、貴事業所が実施しているのはどれですか。(○はいくつでも)

1. 定時退社日（ノー残業デーなど）を設定している
2. 原則として、全社的に残業を一律禁止している
3. 仕事量、仕事の進め方を見直した
4. 要員の見直し、代替要員の確保を行った
5. 一定以上の長時間残業者に対しては、産業医等による面談を行っている
6. 部下の長時間残業の状況を管理監督者の評価項目にしている
7. 早朝出社を奨励している
8. 時間外労働に関して社内調査、実態把握をしている
9. 労働時間の専門委員会、対策部会等を設置している
10. その他 ()
11. 特に何もやっていない

問31. 貴事業所の正社員の昨年度平均の年次有給休暇の取得率はどれにあたりますか。取得率は、取得資格のある労働者の取得日数／付与日数計×100でお求めください（付与日数に繰越日数は含みません）。(○は1つ)

- | | | |
|-------------|-------------|----------|
| 1. 30%未満 | 3. 50～70%未満 | 5. 90%以上 |
| 2. 30～50%未満 | 4. 70～90%未満 | 6. 100% |



付問 年次有給休暇が取得されない理由は何だと思われますか。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------|------------------------|
| 1. 仕事が多い | 5. 従業員が昇進等の人事考課を気にしている |
| 2. 要員・人員が不足している | 6. 年休取得に対する意識が低い |
| 3. 代替要員がない | 7. 病気などのために確保しておく |
| 4. 取得しにくい職場の雰囲気がある | 8. その他 () |

問32. 年次有給休暇の取得を促進するための対策として、実施しているのはどれですか。(〇はいくつでも)

1. 連続取得の奨励
2. 一斉年休の導入 (計画取得など)
3. 年休の個人別計画取得方針の導入
4. 仕事量、仕事の進め方の見直し
5. 要員の見直し、代替要員の確保
6. 年休取得を人事考課・査定に影響させないルールの徹底
7. 部下の年休取得状況を管理監督者の評価項目にする
8. その他 ()
9. 特に何もやっていない

正社員の離職について

問33. 昨年1年間(2013年1月1日から12月31日まで)に貴事業所を離職した正社員は何人いますか。(いない場合には「0」を記入。配転、出向者は除きます)

		2013年1月1日から12月31日までの離職者
離職者数		() 人
	うち定年退職者	() 人
	うち本人都合退職者	() 人

問34. 貴事業所の正社員の離職状況について、どう思われますか。(〇は1つ)

1. 高い 2. やや高い 3. 適当 4. やや低い 5. 低い

問35. 貴事業所では、正社員の定着に向けて、どのような対策に取り組んでいますか。(〇はいくつでも)

1. 希望に即した配置をする
2. 賃金水準を引き上げる
3. 能力開発の機会を増やす
4. 労働時間を短くする
5. 有給休暇を取得しやすくする
6. 教育担当者をつけ、相談しやすくする
7. 職場の人間関係の改善をはかる
8. 職場の作業環境を改善する
9. セクハラ・パワハラ対策を行う
10. 仕事と家庭の調和をはかる
11. その他 ()
12. 特に取り組んでいない

問36. 過去3年間で貴事業所を離職した人(定年退職を除く)の年齢と勤続年数について、もっとも多いものはどれですか。

(ア) 離職時の年齢 (〇は1つ)

1. 20歳未満 3. 25～29歳 5. 35～39歳 7. 50歳代
2. 20～24歳 4. 30～34歳 6. 40歳代

(イ) 離職時の勤続年数 (〇は1つ)

1. 1年未満 3. 3年～5年未満 5. 10年以上
2. 1年～3年未満 4. 5年～10年未満

問37. 貴事業所において、過去3年間で下記の事柄を実施しましたか。(〇はいくつでも)

1. 懲戒解雇 (懲戒処分としての解雇)
2. 整理解雇 (「経営上の理由」に基づく人員整理のための解雇)
3. 普通解雇 (整理解雇以外の解雇で、労働者の能力や適性の欠如など、労働者に起因する理由による使用者都合の解雇)
4. 退職勧奨
5. いずれも実施していない

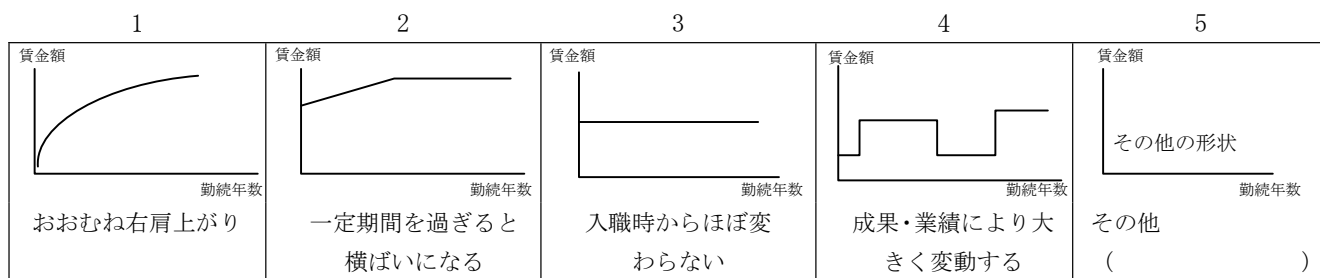
限定正社員についておうかがいします。限定正社員がいない事業所については、12 ページ問 39 へお進みください。

問38. 限定正社員がいる事業所に下記の項目についておうかがいします。※ここでいう「限定正社員」とは、勤務地、労働時間、職種などが、貴社の一般的な正社員に比べて限定されている正社員のことをいいます。

	貴事業所での呼称（人数の多いものから3つ記入） 例）一般職、ローカル社員、短時間勤務社員など		
1. 貴事業所にいる限定正社員の呼称を教えてください。	A 「 」	B 「 」	C 「 」
2. それぞれの限定正社員の人数をご記入ください	() 人	() 人	() 人
3. どのような職種ですか。（○はいくつでも）			
1. 管理職（リーダー職含む）	1	1	1
2. 事務職（一般事務等）	2	2	2
3. 事務系の専門職（財務、翻訳、秘書等）	3	3	3
4. 技術系の専門職（設計、SE等）	4	4	4
5. 医療・福祉・教育関係の専門職	5	5	5
6. 営業職	6	6	6
7. 販売職	7	7	7
8. 生産・技能職	8	8	8
9. 接客・サービス職	9	9	9
10. 運輸・通信職	10	10	10
11. その他	11	11	11
4. 限定されている事柄に○をつけてください。（○はいくつでも）			
1. 職種が限定されている	1	1	1
2. 勤務地が限定されている	2	2	2
3. 労働時間が限定されている	3	3	3
4. その他	4	4	4
5. 4で選択した中で、もっとも中心となる限定条件をお答えください。（○は1つ）			
1. 職種	1	1	1
2. 勤務地	2	2	2
3. 労働時間	3	3	3
6. 仕事内容は次のどれにあてはまりますか。（○は1つ）			
1. 指示を受けて行う定型的な仕事	1	1	1
2. おおむね指示を仰ぎながら、本人の判断もある程度必要な仕事	2	2	2
3. たまに指示を受ける程度で、おおむね本人の判断による仕事	3	3	3
4. ほぼ指示を受けずに、本人の判断で行う仕事	4	4	4
7. それぞれの限定正社員を導入した時期はいつですか。（○は1つ）			
1. 1980年代以前	1	1	1
2. 1990年代	2	2	2
3. 2000年代	3	3	3
4. 2010年代以降	4	4	4
5. わからない	5	5	5
8. 過去1年間で非正規従業員から当該限定正社員に登用したことがありますか。（○は1つ）			
1. ある	1	1	1
2. ない	2	2	2
9. 過去1年間で通常の正社員から当該限定正社員に移った人はいますか。（○は1つ）			
1. いる	1	1	1
2. いない	2	2	2

正社員の賃金形態について

問39. 貴社の正社員の賃金カーブはおおむねどのような形状ですか。(○は1つ)



問40. 正社員（管理職以外）の賃金（月給）をおうかがいします。初任給と勤続年数に応じた平均的な賃金はどのくらいですか。

通常の正社員（管理職以外）の月給（税等込み）	
初任給	()万 ()千円
3年目	()万 ()千円
10年目	()万 ()千円
20年目	()万 ()千円

問41. 正社員（管理職以外）の賃金（基本給）を決定する場合、以下のどの要素を重視していますか。(○はいくつでも)

- | | | |
|-----------------|------------|------------|
| 1. 職務、職種など仕事の内容 | 4. 勤続・経験年数 | 7. その他 () |
| 2. 職務遂行能力 | 5. 学歴 | |
| 3. 業績・成果 | 6. 年齢 | |

付問 その要素の中で、賃金への影響がもっとも大きいものを1つあげるとすればどれですか。(上記の理由のうちもっとも強いものの数字(1~7)を1つご記入ください)

賃金への影響がもっとも大きいもの

IV すべての事業所に、要員管理と能力開発の方針についておうかがいします

問42. 各雇用形態の従業員を採用する際、実質的な採用権限はどこにありますか。(各項目に○は1つ)

	本社の 人事担当	貴事業所の 人事担当	配属部門の 責任者	当該雇用形態 の者はいない
正社員（限定正社員をのぞく）	1	2	3	4
限定正社員	1	2	3	4
契約社員	1	2	3	4
パート・アルバイト	1	2	3	4
派遣社員	1	2	3	4

注) 雇用形態の定義については問1を参照ください。

問43. 貴事業所の各雇用形態の要員数は、実質的にどこが決めますか。それぞれについてお答えください。(各項目に○は1つ)

	本社の 人事担当	貴事業所の 人事担当	配属部門の 責任者	当該雇用形態 の者はいない
正社員 (限定正社員をのぞく)	1	2	3	4
限定正社員	1	2	3	4
契約社員	1	2	3	4
パート・アルバイト	1	2	3	4
派遣社員	1	2	3	4

注) 雇用形態の定義については問1を参照ください。

問44. 貴事業所の次年度の人員体制 (非正規従業員を含む) を決める際、(A) 人件費総額 (予算) と (B) 要員数はどちらが先に決まりますか。(○は1つ)

方針 A	Aに近い	ややA に近い	ややB に近い	Bに近い	方針 B
人件費総額 (予算) が先に決まる	1	2	3	4	要員数が先に決まる

問45. 事業所の要員数を決定する際にもっとも重要となる基準は何ですか。正社員、非正規従業員それぞれの基準についてお答えください。(□に該当する数字を1つ記入)

- | | | | |
|-------------|----------------|----------------------|----------------------|
| 1. 前年度の利益 | 4. 事業計画に基づく業務量 | 正社員 | 非正規従業員 |
| 2. 前年度の売上 | 5. その他 () | <input type="text"/> | <input type="text"/> |
| 3. 前年度の人員体制 | | | |

問46. 貴事業所の要員数 (非正規従業員も含む) の決定方法にもっとも近いものを下記から1つ選んでください。(○は1つ)

- 利益目標が決まり、それに基づいて要員数が決定される
- 業務量の変動などに臨機応変に対応する形で、要員数が決定される
- 事業計画に定められた業務量とコストから、要員数が決定される
- コスト削減圧力がそれほどかからないため、要員数は基本的に変動しない

問47. この3年間で正社員と非正規従業員の仕事はどのように変化しましたか。(各項目に○は1つ)

正社員	仕事の範囲……	1. 広がった	2. 変わらない	3. 狭まった
	仕事の内容……	1. 高度になった	2. 変わらない	3. 簡単になった
	仕事の量……	1. 増えた	2. 変わらない	3. 減った
非正規従業員	仕事の範囲……	1. 広がった	2. 変わらない	3. 狭まった
	仕事の内容……	1. 高度になった	2. 変わらない	3. 簡単になった
	仕事の量……	1. 増えた	2. 変わらない	3. 減った

問48. 就業形態別の今後の能力開発の方針について、該当するものをお答えください。(各項目に○は1つ)

	現状よりも 力を入れる	現状と変わらない	現状より 力をいれない	当該雇用形態の者 はいない
正社員 (限定正社員をのぞく)	1	2	3	4
限定正社員	1	2	3	4
契約社員	1	2	3	4
パート・アルバイト	1	2	3	4
派遣社員	1	2	3	4

注) 雇用形態の定義については問1を参照ください。

V 貴社および貴事業所の概要についておうかがいします

問49. 貴事業所の産業分野はどれにあたりますか。(○は1つ)

- | | | |
|-------------------|---------------------|------------------------|
| 1. 鉱業、採石業、砂利採取業 | 9. 飲食料品小売業 | 17. 教育、学習支援業 |
| 2. 建設業 | 10. 小売業(8、9を除く) | 18. 医療、福祉 |
| 3. 製造業 | 11. 金融・保険業 | 19. 複合サービス事業(郵便局・協同組合) |
| 4. 電気・ガス・熱供給・水道業 | 12. 不動産業、物品賃貸業 | 20. 職業紹介・労働者派遣業 |
| 5. 情報通信業 | 13. 学術研究、専門・技術サービス業 | 21. サービス業(他に分類されないもの) |
| 6. 運輸業、郵便業 | 14. 宿泊業、飲食サービス業 | 22. その他() |
| 7. 卸売業 | 15. 生活関連サービス業 | |
| 8. 織物・衣服・身の回り品小売業 | 16. 娯楽業 | |

問50. 貴事業所の形態は、次のどれですか。2つ以上に該当する場合は、もっともあてはまるものをお答えください。
(○は1つ)

- | | | |
|--------|----------------|-----------|
| 1. 事務所 | 3. 工場・作業所 | 5. 研究所 |
| 2. 営業所 | 4. 店舗・サービス提供施設 | 6. その他() |

問51. 貴事業所は本社ですか。(○は1つ)

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 本社である | 2. 本社ではない |
|----------|-----------|

問52. 貴事業所の開業(操業)時間は何時から何時までですか。24時間開業(操業)している場合には1を選択してください。それ以外は例にならって開業時間を24時間制でご記入ください。

- 24時間開業(操業)している
- 開業時間は()時()分から()時()分
記入例① 午前8時30分始業、午後5時終業の事務所の場合 → (8)時(30)分から(17)時(00)分
記入例② 午前10時開店、翌午前1時閉店の店舗の場合 → (10)時(00)分から(1)時(00)分

問53. 貴事業所の休業日は以下のどれにあてはまりますか。(○は1つ)

- | | | |
|------------|-------------------------------|---------|
| 1. 年中無休である | 2. 年間の休業日が7日未満(年末年始などに限られている) | 3. それ以外 |
|------------|-------------------------------|---------|

問54. 貴事業所の業務量の変化について、あてはまるものはどれですか。(○はいくつでも)

- 1日のうちで、時間帯によって業務量が倍以上変化する
- 1週のうちで、日によって業務量が倍以上変化する
- 1年のうちで、季節によって業務量が倍以上変化する
- あてはまるものはない

問55. 貴事業所の取引の現状について、あてはまるのはどれですか。(○はいくつでも)

- 3年未満で顧客企業(法人顧客)の大半が入れ替わる
- 3~5年の取引を継続している顧客企業(法人顧客)がある
- 5年以上取引を継続している顧客企業(法人顧客)がある
- あてはまるものはない

問56. 貴事業所の主力事業の主な競合相手はどれですか。(○は1つ)

- 貴事業所が所在する地域(市町村)の同業者
- 上記をのぞく日本国内に所在する同業者
- 海外(発展途上国)に所在する同業者
- 海外(先進国)に所在する同業者
- あてはまるものはない

問57. 貴事業所の管理指標としてもっとも重視しているものは何ですか。(○は1つ)

- 1. 利益額
- 2. 投資利益率 (ROI)
- 3. 売上高 (生産高)
- 4. 事業計画に定められたコスト
- 5. その他 (具体的に:)

問58. 貴事業所には、労働組合がありますか。(○は1つ)

- 1. ある
- 2. ない

付問 「1. ある」を選択した事業所にうかがいます。非正規従業員の組合員はいますか。(○は1つ)

- 1. いる
- 2. いない

問59. 貴事業所の正社員のうち、以下の属性の方の割合はどのくらいですか。(各項目に○は1つ)

	10%未満	10~30%未満	30~50%未満	50~70%未満	70%以上
大卒以上の人の割合	1	2	3	4	5
専門的・技術的な仕事に従事している人の割合	1	2	3	4	5

問60. 貴事業所の正社員、契約社員、パート・アルバイトそれぞれのうち、下記の社会保険等制度等の適用がある者の割合はどのくらいですか。(該当する従業員がいない場合には、なにも記入しなくて結構です。)

	雇用保険	健康保険	厚生年金	企業年金	賞与	退職金
【記入例】						
正社員	(10) 割	(10) 割	(10) 割	(8) 割	(8) 割	(8) 割
正社員	() 割	() 割	() 割	() 割	() 割	() 割
契約社員	() 割	() 割	() 割	() 割	() 割	() 割
パート・アルバイト	() 割	() 割	() 割	() 割	() 割	() 割

貴社全体について

問61. 貴社の創業年と、貴事業所が設置された年はいつですか。

貴社創業年	【西暦】()年
貴事業所が設置された年	【西暦】()年

問62. 貴社には貴事業所以外に事業所はありますか。(○は1つ)

- 1. ある
- 2. ない

付問 「1. ある」を選択した事業所にうかがいます。貴社は国内にどのくらい事業所がありますか。(○は1つ)

- 1. 2~5 事業所
- 2. 6~9 事業所
- 3. 10~19 事業所
- 4. 20~49 事業所
- 5. 50~99 事業所
- 6. 100~199 事業所
- 7. 200~499 事業所
- 8. 500 事業所以上

多様な就業形態と人材ポートフォリオに関する実態調査（従業員調査票）

厚生労働省要請調査

【調査の趣旨】

このアンケート調査は、職場での労働者の活用実態を把握するため、独立行政法人労働政策研究・研修機構（※）が、厚生労働省の要請を受けて行っております。さまざまな就業形態で働いておられる労働者の的確な活用と、就業環境の整備に向け、労働政策の検討のための基礎資料とすることを目的に実施するものです。あなたが働く職場の状況を是非ご教示くださいますよう、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

【記入にあたってのお願い】

1. この「従業員調査票」は、現在 40 歳未満の方で、「正社員」「契約社員」「パート・アルバイト」「派遣社員」で働いている方がご回答くださいますようお願いいたします。
2. 設問へのご回答は、選択肢がある場合には、その番号を○で囲み、それ以外の場合は適宜ご記入ください（選択肢で「その他」に○をつける場合、なるべく具体的な事柄を記入してください）。なお、各問において特別の回答方法をお願いしている場合は、それに沿ってお答えください。
3. 特にことわりのない場合、調査の回答時点は、2014年1月1日現在でお答えください。
4. この調査票にご記入いただいた内容は、すべて統計的に処理され、研究目的にのみ利用されますので、ありのままをご記入ください。
5. ご記入が終わりましたら、一緒にお渡ししている薄黄色の返信用封筒に入れて、2月3日（月）までにご投函ください。

【この調査についてのご照会先】

（調査票の記入方法・締め切りなど実査について）

株式会社日本統計センター 担当：門川（カドガワ）、渡邊

電話：03-3861-**** E-mail：***@ntc-ltd.com

受付時間：9：00～12：00、13：00～18：00（土日祝日を除く）



（株式会社日本統計センターは、労働政策研究・研修機構より、当調査の実査・集計業務を委託されています。一般財団法人日本情報経済社会推進協会より、個人情報の適切な取扱いを行う事業者として、プライバシーマークの付与認定を受けています。）

（調査の趣旨・目的について）

独立行政法人 労働政策研究・研修機構

担当：小野、奥田、前浦

電話：03-5991-5147

受付時間：10：00～12：00、13：00～17：00（土日祝日を除く）

（※）労働政策研究・研修機構は厚生労働省所管の独立行政法人で、労働政策に資する調査研究活動、労働についての情報収集・提供などの活動を行っております。（URL <http://www.jil.go.jp>）

I (全員に) 現在の職場での働き方についておうかがいします

問1. 現在の会社で働き始めたのは何年何月ですか。西暦でお答えください。出向や転勤中の方は企業グループ全体で働き始めた時期についてお答えください。派遣社員の場合、現在の派遣先で働き始めた時期をお答えください。

西暦 年 月 (回答例 2006年10月)

問2. 現在の会社において、雇用契約期間の定めはありますか。あなたが派遣社員の場合は、派遣先での派遣契約期間についてお答えください。(○は1つ)

1. 定められている 2. 定められていない(定年までの雇用、試用期間も含む) 3. わからない



付問. 雇用契約期間の定めがある場合の雇用(派遣)契約期間についてお答えください。(○は1つ)

1. 3か月未満 4. 6か月 7. 1年超(具体的に: 年)
2. 3か月 5. 6か月超え1年未満
3. 3か月超え6か月未満 6. 1年

問3. あなたの現在の職場での職種(仕事内容)は、以下のどれにあたりますか。(○は1つ)

1. 管理職(リーダー職含む) 7. 販売職
2. 事務職(一般事務等) 8. 生産・技能職
3. 事務系専門職(市場調査、財務、翻訳、秘書等) 9. 接客・サービス職
4. 技術系専門職(研究開発・設計・SE等) 10. 運輸・通信職
5. 医療福祉・教育関係の専門職 11. その他()
6. 営業職

問4. あなたが携わっている仕事の難易度は、以下のどれにあてはまるとお考えですか。(○は1つ)

1. 指示を受けて行う定型的な仕事
2. おおむね指示を仰ぎながら、本人の判断もある程度必要な仕事
3. たまに指示を受ける程度で、おおむね本人の判断による仕事
4. ほぼ指示を受けずに、本人の判断で行う仕事

問5. あなたの現在の役職は何ですか。(○は1つ)

1. 役職はない 2. 係長相当職(主任・リーダー含む) 3. 課長相当職 4. 部長相当職以上



付問. 役職のある方(選択肢2~4)におうかがいします。

初めて役職についたのは、現在の会社で働き始めてから何年くらいですか。(○は1つ)

1. 3年未満 2. 3~5年未満 3. 5~10年未満 4. 10年以上

問6. あなたの現在の会社での就業形態は、以下のどれにあたりますか。(○は1つ)

1. 正社員
2. 契約社員(フルタイムで期間を定めて雇用する者。定年退職の再雇用者除く)
3. パート・アルバイト
4. 派遣社員(労働者派遣事業者から派遣されている労働者)

「1. 正社員」を選択された方は、問7(3ページ)へお進みください。

選択肢2~4を選択された方(正社員以外の働き方)は、問9(4ページ)へお進みください。

問6で「1. 正社員」を選択された方におうかがいします

問7. あなたは「限定正社員」(※)ですか。(○は1つ)

※ここでの「限定正社員」とは、正社員の雇用区分のなかで職種、勤務地、勤務時間などが貴社の一般的な正社員に比べて限定されている正社員をいいます。

1. はい：限定正社員
 2. いいえ：貴社での一般的な正社員 → 問8へ
 3. わからない

付問 「1. 限定正社員」を選択された方におうかがいします。限定されている事柄は何ですか。(○はいくつでも)

1. 職種が限定されている 3. 労働時間が限定されている 5. その他
 2. 勤務地が限定されている 4. 昇進に上限がある ()

非正規従業員から正社員への登用について

問8. あなたは、現在の会社で非正規従業員から正社員に登用された経験がありますか。(○は1つ)

1. はい (登用された経験がある) 2. いいえ → 問16 (5 ページ) へ

以下の付問1~4は、非正規従業員から正社員に登用された方におうかがいします。

付問1. 登用されたのは何年ですか。 (西暦) 年 (回答例 2008年)

付問2. あなたが現在の会社に入ってから、正社員に転換する前までに経験した就業形態は何ですか。(複数経験している場合は、年数が長いもの1つに○)

1. 契約社員 3. 派遣社員 5. その他 ()
 2. パート・アルバイト 4. 請負会社の社員

付問3. 転換前についていた職種(仕事)は何ですか。(複数経験している場合は、年数が長いもの1つに○)

1. 管理職(リーダー職含む) 7. 販売職
 2. 事務職(一般事務等) 8. 生産・技能職
 3. 事務系専門職(市場調査、財務、翻訳、秘書等) 9. 接客サービス職
 4. 技術系専門職(研究開発・設計・SE等) 10. 運輸・通信職
 5. 医療福祉・教育関係の専門職 11. その他 ()
 6. 営業職

付問4. 以下のなかで、正社員に登用される際に、あなたが評価されたと思うものは何ですか。(○はいくつでも)

1. 勤続期間 7. あなたの性別
 2. 職場の上司の推薦 8. あなたの学歴
 3. 人事評価における一定以上の評価実績 9. 筆記試験の結果
 4. 職務遂行能力・スキル 10. 面接試験の結果
 5. 特定の資格の保有 11. その他 ()
 6. あなたの年齢 12. 特にない

→ 正社員の方は問16 (5 ページ) にお進みください

問 9～15 は、問 6 で「2. 契約社員」「3. パート・アルバイト」「4. 派遣社員」を選択された方におうかがいします。
「1. 正社員」を選択された方は問 16 (5 ページ) にお進みください

問 9. 現在の会社で、あなたに与えられている仕事は、以下の A、B のいずれに近いと思いますか。(○は 1 つ)

A	Aに近い	ややAに近い	ややBに近い	Bに近い	B
限定された 1 つの仕事、職域だけをこなす (単能工的)	1	2	3	4	複数の仕事、職域を遂行する (多能工的)

問 10. あなたの職場では、あなたのキャリアを伸ばすような仕事を与えられることがありますか。(○は 1 つ)

1. よくある 2. たまにある 3. ほとんどない

問 11. あなたは、過去 3 年間で部門を超えた異動 (配置転換) を経験したことがありますか。(○は 1 つ)

※勤続年数が 3 年に満たない場合は、初めて採用・配置されてから現在までについてお答えください。また、この後の設問でも「過去 3 年間」についてたずねていますが、同様の要領でお答えください。

1. ある 2. ない

付問 「1. ある」を選択された方におうかがいします。

従前 (異動前) の仕事で培ったスキルは、異動後の部署でも役に立っていますか。(○は 1 つ)

1. 役に立っている 2. 役に立っていない

問 12. 現在の会社で働き始めた時点と現在を比べて、以下の項目はどのように変化しましたか。(各項目に○は 1 つ)

	上昇 (拡大)	ほとんど変化なし	低下 (縮小)
仕事内容の範囲	1	2	3
仕事内容の難易度	1	2	3
仕事に対する責任	1	2	3
仕事量	1	2	3
自身のスキルレベル	1	2	3
仕事の取り組み意欲	1	2	3

同じ仕事をしている正社員について

問 13. 現在の会社には、あなたとほとんど同じ仕事をしている正社員がいますか。(○は 1 つ)

1. いる 2. いない → 問 14 (5 ページ) へ

「1. いる」とお答えの方におうかがいします。

付問 1. あなたとほとんど同じ仕事をしている正社員とはどんな人ですか。代表的な人の以下の属性 (性別、年齢、学歴) についてわかる範囲でお答えください。(複数いる場合は、もっとも人数が多い属性をお答えください。各項目に○は 1 つ)。

①性別	→	1. 男性 2. 女性
②年齢	→	1. 29 歳以下 2. 30 代 3. 40 代 4. 50 代以上 5. わからない
③学歴	→	1. 中学・高校卒 2. 短大・高専卒 3. 大卒以上 4. わからない

付問 2. あなたとほとんど同じ仕事をしている正社員との間で、以下の条件のうち異なるものは何ですか。(○はいくつでも)

1. 仕事にともなう責任の重さ 5. 転居を伴う転勤の可能性
2. 残業の頻度 6. 勤続年数
3. 他の仕事に変わる可能性 7. 昇進の可能性
4. 他の事業所への異動の可能性 8. いずれも同じである

付問3. あなたとほとんど同じ仕事をしている正社員と比較して、あなたの賃金についてどのように認識していますか。(○は1つ)

1. かなり低い 2. 低い 3. 同程度 4. 高い 5. かなり高い 6. わからない

付問4. そのような賃金について納得していますか。(○は1つ)

1. 納得している 2. どちらともいえない 3. 納得していない

問14. あなたは現在の会社で正社員として登用されたいと思いますか。(○は1つ)

1. 思う 2. 思わない

問15. あなたは、現在の会社で正社員に登用される可能性があると思いますか。(○は1つ)

1. 思う 2. 思わない 3. わからない

Ⅱ (全員に) 現在の職場での労働時間、休日、評価についておうかがいします

労働時間と休暇について

問16. あなたの(1)1日の所定労働時間は何時間ですか。また、(2)週あたりの所定労働日数は何日ですか。両者を掛け合わせた、(3)週あたりの所定労働時間は何時間ですか。(4)週あたりの平均残業時間は何時間ですか(残業時間がない方は「0」と記入)。

(1)1日の所定労働時間

時間

(2)週の所定労働日数

日

(3)週あたりの所定労働時間

= 時間

例) 時間

× 日

= 時間

週あたりの
実労働時間
(3)+(4)

(4)週あたりの平均残業時間

時間

例) 時間

週1時間以上残業している方におうかがいします。

付問1. あなたは残業時間の申請をしていますか。(○は1つ)

1. ほとんど申請している 2. 一部申請している 3. ほとんどしていない

付問2. あなたが残業をする理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 業務量が多い 5. 人員不足 9. 突発的に仕事飛び込んでくるから
2. 納期にゆとりがない 6. 仕事への責任感 10. 職場のムード(早く帰る人があまりいない等)
3. 目標値・ノルマが高い 7. 仕事や成果物へのこだわり 11. その他()
4. 無駄な仕事がある 8. 収入の確保

問17. 週あたりの深夜労働※(交代勤務の夜勤を含む)の頻度はどの程度ですか。(○は1つ)

※ここでの深夜労働とは、おおよそ午後10時から午前5時の間のことを指します。

1. 深夜労働はほとんどない 3. 週2回 5. ほとんど毎日(週5日以上)
2. 週1回 4. 週3~4日

問 18. 2013 年度の初めの時点で、年次有給休暇を付与されましたか。(○は 1 つ)

※年次有給休暇の付与が年単位の場合は 2013 年 1 月～2013 年 12 月でお答えください。

1. 付与された → 付与日数 () 日 * 昨年度の繰越分は含みません
2. 付与されていない

「付与された」を選択された方におうかがいします。

→ 付問 1. 今年度(2013年4月～2014年2月調査時点まで)のおおよそ1年間の年次有給休暇で実際に取得した日数は何日ですか。(○は1つ)

- | | | | |
|----------|-----------|--------------|-----------|
| 1. 0 日 | 3. 4～6 日 | 5. 11 日～15 日 | 7. 20 日 |
| 2. 1～3 日 | 4. 7～10 日 | 6. 16 日～19 日 | 8. 21 日以上 |

→ 付問 2. 全般的に、あなたの職場では休日・休暇は取得しやすいですか。(○は 1 つ)

1. 取得しやすい
2. どちらともいえない
3. 取得しにくい

処遇について

問 19. あなたの①給与形態を選び(○は 1 つ)、②そのおおよその金額(数字を記入)をご記入ください。

①給与形態	②金額(税金、社会保険料など控除前の金額。残業代を除く。)
1. 時間給	1 時間あたり () 円
2. 日給	1 日あたり () 円
3. 週給	1 週あたり () 円
4. 月給	1 月あたり () 円
5. 年俸	1 年あたり () 円
6. その他 ()	() 円

問 20. 現在の会社に入ってから、あなたは昇給しましたか。(○は 1 つ)

1. 昇給していない
2. 昇給した

職場の目標管理と評価について

問 21. あなたの職場では、どのような目標管理がなされていますか。(○はいくつでも)

1. 利益目標が設定されている
2. 売上目標が設定されている
3. 成果物の数の目標が設定されている
4. チャレンジングな行動目標が設定されている
5. プロセスに関する目標が設定されている
6. その他 ()
7. 特に目標管理はされていない

問 22. あなたの職場では、目標達成に向けた指導・管理の頻度はどの程度ですか。(○は 1 つ)

- | | | | |
|-----------|-------------|------------|------------------|
| 1. 毎日 | 3. 月に 1 度 | 5. 半年に 1 度 | 7. その他 () |
| 2. 週に 1 度 | 4. 四半期に 1 度 | 6. 年に 1 度 | 8. 指導・管理は行われていない |

問 23. あなたの職場は、個人間の競争が激しいと思いますか。(○は 1 つ)

1. 非常に激しい
2. やや激しい
3. あまり激しくない
4. 全く激しくない

問 24. 競争の結果によって、以下のそれぞれにどの程度違いが発生しますか。(各項目に○は 1 つ)

	非常に差がつく	やや差がつく	あまり差はつかない	差はつかない
a. 給与額	1	2	3	4
b. 昇進の見込み	1	2	3	4
c. 与えられる仕事の難易度	1	2	3	4
d. 与えられる仕事の責任の重さ	1	2	3	4
e. 研修・教育訓練の機会	1	2	3	4
f. 解雇(又は雇い止め)の可能性	1	2	3	4

問 25. あなたの職場での評価は、以下のどのあたりだと思いますか。(○は1つ)

1. 上位 20% 2. 中間 3. 下位 20%

問 26. あなたの仕事についてうかがいます。以下の項目であてはまる番号に○をつけてください(各項目に○は1つ)

	かなり できる	やや できる	ほとんど できない	全く できない
a. 仕事の量を自分で決めることができる	1	2	3	4
b. 自分の仕事のやり方を自由に決めることができる	1	2	3	4

職場の教育訓練と能力開発について

問 27. あなたには、以下のような教育訓練の適用がありますか。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------------------|---------------------------------|
| 1. 計画的な OJT (日常の業務につきながら行われる教育訓練) | 6. 今後のキャリア形成に関する研修 |
| 2. 入社・入職時の研修 | 7. 法令順守 (コンプライアンス) 研修 |
| 3. 職種・職務別の研修 | 8. その他 () |
| 4. 役職別研修 | 9. 教育訓練は特にない |
| 5. 資格取得のための研修 | |

問 28. 現在のあなたの職場には、以下の項目にあてはまる上司・先輩はいますか。(各項目に○は1つ)

	現在の職場にいる	現在の職場にはいない
a. 仕事の仕方や技能について目標となる先輩・上司	1	2
b. すぐに仕事上の質問ができる先輩・上司	1	2
c. 仕事以外の悩みを相談できる先輩・上司	1	2

問 29. もし今のあなたの仕事を新人におぼえさせるとすると、ひととおり仕事をこなせるようになるために、どのくらいの期間がかかるとお考えですか。(○は1つ)

- | | | |
|-------------|------------|-------------|
| 1. 1か月未満 | 4. 1年～2年未満 | 7. 5年～10年未満 |
| 2. 1か月～半年未満 | 5. 2年～3年未満 | 8. 10年以上 |
| 3. 半年～1年未満 | 6. 3年～5年未満 | 9. わからない |

問 30. あなたは、職場の後輩や部下を教育、指導することがありますか。(○は1つ)

1. 管理責任者、教育担当者として教育、指導している
2. 非公式に教育、指導することがある
3. 教育、指導することはない

問 31. 現在の会社でキャリアを伸ばすには、資格の取得が必要ですか。(○は1つ)

1. 必要である →付問 それはどんな資格ですか。具体的にお書きください。
2. 必要ではない

具体的に：

問 32. 現在の会社では、資格の取得で何らかの支援がありますか。(○は1つ)

1. 支援がある 2. 支援はない 3. わからない

問 33. あなたに対する職場の能力開発の方針は、以下のどれに近いと思いますか。(○は1つ)

1. 能力開発に積極的 2. どちらともいえない 3. 能力開発に消極的

問 34. あなたは現在、職業能力・スキルを高めるための自己啓発をしていますか。(○は1つ)

1. している 2. していない → 問 35 へ

「1. している」を選択された方におうかがいします。

付問 1. そのために費やしている時間は、1 か月あたりどのくらいですか。(○は1つ)

1. 20 時間以上 2. 10～20 時間未満 3. 5～10 時間未満 4. それ以下

付問 2. そのために費やしているお金は、1 か月あたりどのくらいですか。(○は1つ)

1. 2 万円以上 3. 5 千～1 万円未満 5. 千円台
2. 1 万～2 万円未満 4. 2 千～5 千円未満 6. 千円未満

Ⅲ (全員に) あなたの経歴、転職経験についておうかがいします

あなたの転職経験や前職について

問 35. あなたは学校を卒業してから、今までに何回転職しましたか。(契約社員、パート・アルバイト、派遣社員などの経験も含む。)(○は1つ)

※出向の場合は、転職に含めないでください。派遣社員の場合の勤務先とは、ここでは派遣先のことを指します。

(転職回数)

1. 1 回 3. 3 回 5. 5 回以上 6. 転職したことはない
2. 2 回 4. 4 回

(現在の会社が初職 (現在の会社以外経験なし))

→ 問 36(9 ページ)へ

選択肢 1～5 を選択された方 (転職経験がある方) におうかがいします。

付問 1. 現在の会社で働く前に、正社員で働いた期間、及び、正社員以外 (契約社員、パート・アルバイト、派遣社員など。在学中を除く。)で働いた期間は、通算でおおよそどのくらいですか。

※該当する就業形態で働いた経験がない場合は「0」をご記入ください。

	現在の会社で働く前の通算の勤務期間
正社員で働いた期間	通算約 () 年 () か月
正社員以外で働いた期間	通算約 () 年 () か月

付問 2. 現在の会社で働く前に、以下の職種の経験でもっとも長いものは何ですか。通算のおおよその経験年数でお考えください。(○は1つ)

1. 管理職 (リーダー職含む) 7. 販売職
2. 事務職 (一般事務等) 8. 生産・技能職
3. 事務系専門職 (市場調査、財務、翻訳、秘書等) 9. 接客・サービス職
4. 技術系専門職 (研究開発・設計・SE 等) 10. 運輸・通信職
5. 医療福祉・教育関係の専門職 11. その他 ()
6. 営業職

付問 3. あなたが現在の会社で働く前に就いていた会社 (前職)での就業形態は何ですか。(○は1つ)

1. 正社員 3. パート・アルバイト 5. 請負会社の社員 7. その他 ()
2. 契約社員 4. 派遣社員 6. 自営・自由業

問 36. 現在の会社に就職するうえで、採用につながった方法はどれですか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------|-----------------------------|
| 1. ハローワーク | 6. 求人広告(雑誌、新聞折り込み、フリーペーパー等) |
| 2. 民間の人材紹介や派遣会社 | 7. リクナビなどの就職情報サイト |
| 3. 学校からの紹介 | 8. 現在の会社の採用 WEB ページ |
| 4. 業界関係者からの紹介 | 9. その他 () |
| 5. 縁故 | |

問 37. あなたが、現在の会社を選んだ理由は何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 1. 仕事の内容に興味があったから | 7. 会社の将来性が期待できるから |
| 2. 自分の都合のよい時間で働きたいから | 8. 給料など収入が高いから |
| 3. 好きな勤務地を選べるから | 9. 休みがとりやすいから |
| 4. 専門的な知識・技術を活かせるから | 10. 家事・育児・介護などの事情から |
| 5. 実務経験やキャリアを積めるから | 11. 入社しやすかったから |
| 6. 仕事の範囲や責任が明確だから | 12. 精神的・肉体的な病気を抱えていたから |
| | 13. その他 () |

IV (全員に) あなたの仕事に対する意識についておうかがいします

問 38. あなたは、現在の仕事の以下の事項について、それぞれどの程度満足していますか。(各項目に○は1つ)

	満足して いる	やや満足し ている	あまり満足 していない	満足して いない
a. 仕事全体	1	2	3	4
b. 労働時間	1	2	3	4
c. 賃金	1	2	3	4
d. 休日・休暇	1	2	3	4
e. 仕事の内容	1	2	3	4
f. 仕事の量	1	2	3	4
g. 職場の人間関係	1	2	3	4
h. 能力開発の機会	1	2	3	4

問 39. 現在、あなたには仕事上、どのような悩みがありますか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------|---------------------|
| 1. 会社の将来性に不安 | 9. 仕事の量が多い |
| 2. キャリアの方向性がみえない | 10. 労働時間が長い |
| 3. 自分の能力が高まらない | 11. 休みがとれない |
| 4. 教育訓練や能力開発の機会を与えられない | 12. 給与が低い |
| 5. 仕事内容に興味を持てない | 13. パワハラ・セクハラがある |
| 6. 目標となる先輩や上司がいない | 14. 業務上の経費の自己負担が大きい |
| 7. 仕事のモチベーションが維持できない | 15. 達成すべきノルマ・目標が高い |
| 8. 仕事の責任が大きい | 16. 辞めさせられるかもしれない |
| | 17. その他 () |

問 40. あなたは、現在の職場で働くことで、身体的・精神的な健康不安を感じることはありますか。

(各項目に○は1つ)

	非常に感じる	やや感じる	あまり 感じない	感じない
a. 身体的な健康の不安	1	2	3	4
b. 精神的な健康の不安	1	2	3	4

問 41. あなたは今後どのような職業生活をおくりたいと思いますか。(○は1つ)

- | | | |
|-----------------|------------|-------------------|
| 1. 現在の会社で働き続けたい | 3. 独立開業したい | 6. 仕事をしたくない |
| 2. 転職したい | 4. 家業を継ぐ | 7. わからない、成行きにまかせる |
| | 5. その他 () | |

「1. 現在の会社で働き続けたい」「2. 転職したい」を選択された方におうかがいします。

付問 1. 今後、どのような雇用形態でもっとも働いてみたいと思いますか。(○は1つ)

- | | | |
|---------|--------------|-----------------|
| 1. 正社員 | 3. パート・アルバイト | 5. その他 () |
| 2. 契約社員 | 4. 派遣社員 | 6. 特に希望する働き方はない |

「2. 転職したい」を選択された方におうかがいします。

付問 2. 今後、どのようなタイミングで転職活動をしたいと考えていますか。(○は1つ)

- | | | | |
|-----------|-------------|-----------|-----------------|
| 1. すぐにも | 3. 半年ぐらい先には | 5. 3年以内には | 7. ゆくゆくは (特に時期は |
| 2. 数か月先には | 4. 1年ぐらい先には | 6. 3年以降 | 考えていない) |

V (全員に) あなたご自身のことについておうかがいします

あなたの会社と事業所について

F1. あなたが働く事業所の主な産業分野はどれにあたりますか。(○は1つ)

- | | | |
|-------------------|---------------------|-------------------------|
| 1. 鉱業、採石業、砂利採取業 | 9. 飲食料品小売業 | 17. 教育、学習支援業 |
| 2. 建設業 | 10. 小売業 (8、9を除く) | 18. 医療、福祉 |
| 3. 製造業 | 11. 金融・保険業 | 19. 複合サービス事業 (郵便局・協同組合) |
| 4. 電気・ガス・熱供給・水道業 | 12. 不動産業、物品賃貸業 | 20. 職業紹介・労働者派遣業 |
| 5. 情報通信業 | 13. 学術研究、専門・技術サービス業 | 21. サービス業 (他に分類されないもの) |
| 6. 運輸業、郵便業 | 14. 宿泊業、飲食サービス業 | 22. その他 () |
| 7. 卸売業 | 15. 生活関連サービス業 | |
| 8. 織物・衣服・身の回り品小売業 | 16. 娯楽業 | |

F2. あなたが働く事業所の形態は、次のどれですか。もっともあてはまるものをお答えください。(○は1つ)

- | | | |
|--------|----------------|------------|
| 1. 事務所 | 3. 工場・作業所 | 5. 研究所 |
| 2. 営業所 | 4. 店舗・サービス提供施設 | 6. その他 () |

F3. あなたの会社には、労働組合がありますか。(○は1つ)

1. ある 2. ない

付問 あなたは組合員ですか。(○は1つ)

1. 組合員である 2. 組合員ではない

F4. あなたに適用されている制度はどれですか。(○はいくつでも)

- | | | |
|---------|------------------|--------------|
| 1. 雇用保険 | 4. 企業年金 (年金基金など) | 7. 賞与 |
| 2. 健康保険 | 5. 国民年金 | 8. 退職金制度 |
| 3. 厚生年金 | 6. 第3号被保険者として加入 | 9. 以上のいずれもない |

F5. あなたが働く事業所の正社員の定着状況について、あてはまるものはどれですか。(○は1つ)

- | | | |
|------------------|-------------------|----------|
| 1. 3年で大半が入れ替わる | 3. 3年で入れ替わるのは2~3割 | 5. わからない |
| 2. 3年で半分程度が入れ替わる | 4. ほとんど入れ替わらない | |

あなたの自身について

F6. あなたの性別は何ですか。(○は1つ)

1. 男性 2. 女性

F7. あなたの現在（調査時点）の年齢を教えてください。

歳 (回答例 歳)

F8. あなたの最終学歴をお答えください。(在学中及び中退は卒業に含みません)(○は1つ)

1. 中学校・高校 2. 専修・各種学校 3. 短大・高専 4. 大学・大学院

F9. あなたは、結婚していますか。(○は1つ)

1. 未婚 2. 既婚（事実婚を含む） 3. 離死別

F10. あなたと同居している方を選択してください。(○はいくつでも)

1. 配偶者（パートナー）
 2. 自分の子供 → 付問 末子（一番下の子供）の年齢は何歳ですか。
 3. 自分、あるいは配偶者（パートナー）の親
 4. その他 末子年齢 歳
 5. 1人暮らし

F11. ①あなたご自身、②あなたの世帯全体の年収は、おおよそどのくらいですか。仕事以外から得られる収入も含めてお答えください。(各項目に○は1つ)

	①自分自身	②世帯全体
50万円未満	1	1
50～100万円未満	2	2
100～150万円未満	3	3
150～200万円未満	4	4
200～250万円未満	5	5
250～300万円未満	6	6
300～400万円未満	7	7
400～500万円未満	8	8
500～700万円未満	9	9
700～1,000万円未満	10	10
1,000～1,500万円未満	11	11
1,500万円以上	12	12

F12. あなたの将来の見通しにおいて、以下の①～⑦はどの程度あてはまりますか。(各項目に○は1つ)

	大いに あてはまる	やや あてはまる	あまり あてはまらない	まったく あてはまらない	すでに 該当している
①自分の収入が増える	1	2	3	4	
②自分の生活が豊かになる	1	2	3	4	
③将来に希望が持てる	1	2	3	4	
④安心して老後を過ごす	1	2	3	4	
⑤子どもを作る	1	2	3	4	5
⑥資産を残す	1	2	3	4	
⑦持ち家に住む	1	2	3	4	5

これで質問は終わりです。ご協力ありがとうございました。